

編集後記

今号から、前任の松田巖先生の後を引き継ぎ、広報委員として「物性研だより」を担当させて頂くことになりました。松田先生は、この「物性研だより」を現在のスタイルにリニューアルされた方であり、そのような方の後を引き継ぐというのは少々荷が重いようにも思いますが、この「物性研だより」が今後も物性研の研究成果や研究内容をよりわかりやすく伝え、より多くの人に読んでいただけるよう、微力ながら尽力させていただく所存です。

今号には、昨年の3月に定年退職を迎えられた嶽山正二郎の記事が掲載されています。嶽山先生が物性研に着任されたいきさつから、電磁濃縮法による1200テスラ達成までのご苦勞、そして超強磁場物性科学への展望などが4ページ半に渡って書かれており、先生の超強磁場科学への想いが伝わってきます。作業服を着て講演された退職記念講演でのお姿も思い出されます。また、前任の松田巖先生と私も共同研究に参加した、グラフェン準結晶の記事も掲載されています。

ところで、今現在世間では、新型コロナウイルス感染症が広がり、これまでに経験したことが無いような深刻な事態に陥ろうとしています。東京大学でもその対応のための活動制限指針が発表され、物性研究所における研究活動も制限を余儀なくされようとしています。今後、このような事態がどのように収束していくのか、現時点では全く予想もつきませんが、一日も早く、この感染症による被害が最小限で収まり、平時と同様の研究活動を再開できることを願っています。

岡崎浩三

物性研だよりの購読について

物性研だより発行のメール連絡を希望される方は共同利用係まで連絡願います。

また、物性研だよりの送付について下記の変更がある場合は、お手数ですが共同利用係まで連絡願います。

記

1. 送付先住所変更（勤務先⇔自宅等）
2. 所属・職名変更
3. 氏名修正（誤字脱字等）
4. 配信停止
5. 送付冊数変更（機関送付分）
6. メール配信への変更

変更連絡先：東京大学物性研究所共同利用係

〒277-8581 柏市柏の葉 5-1-5

メール：issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp